



協同組合 山形木造住宅プレカットシステム

- 所在地：山形市表蔵王62-1
- TEL：023-688-9191
- 設立：平成17年5月
- 出資金：28,000千円
- 組合員数：8名
- 主な事業：プレカット製品の共同加工・販売

山形県には、住宅等の木材建築に使用される構造材を現場施工前に加工するプレカット工法を行う工場が少なく、県外からプレカット加工された建築用木材が大量に流入し、その大部分が海外からの輸入木材であることから県産木材を利用した木材住宅の供給が課題となっていた。

このままだと県内の木材業界の存亡にかかわるとの思いから、県産材の利用拡大と木材住宅産業の活性化を目的に木材の素材生産者、製材業者や木材市場が集まり平成17年に協同組合を設立した。

平成18年に、総工費4億5千万円で、加工工場（敷地2,400㎡、工場棟1,280㎡、製品置場棟327㎡、管理棟128㎡）を建設。木材をあい、県内の木材・製材業者、

により、工期短縮や物流コスト
在来軸組工に結合金具を
心な住まいづくりを提案すると
外材に対する競争力を高め

施工主からの依頼を受け
業者、工務店と打合せを行
う連携している。



らかじめプレカット加工を行
工務店などに販売する。これ
の削減に寄与している。

組み合わせることで、安全安
ともに、県産木材の利用により
利用拡大を図る。

た段階で、設計事務所、材木
い、スムーズな建築が行えるよ

取引先の工務店からプレカット加工の他に積算や構造諸計算まで要望されるため、設計業務を行う部門を設立し、需要に応じている。

住宅産業の環境の変化に対応するため、人材育成・社内教育に力を入れており、2級建築士等の資格を取得、合わせて2級建築士事務所として登録、平成21年4月には、建築工事、大工工事、屋根工事等の一般建築業の許可を受けた。また、平成22年10月には、優良木質建材認定工場（AQ認証工場）に認定された。県産材の利用推進した結果、山形県より「県産材の使用長期優良住宅」の開発事業を受けることとなった。

組合の課題として、住宅着工数の減少による、製材工場の縮小廃業が目立っている。また、大工職の減少によりプレカットだけでなく骨組み作業まで組合で請け負っている。

事業の安定受注を図るため、地元工務店と連携し、大手ハウスメーカーの木造住宅加工を受け入れ、これまでの木材の持ち込み加工に加え、木材の販売を伴う加工事業を展開している。

今後の展望として、県産材の利用促進や木材産業の活性化、森林資源の保護と次世代に引き継ぐための整備に関する事業についても取り組んでいく。